

まちの話題



City Topics



鮮やかな暖色につつまれた



曾木の滝公園もみじ祭

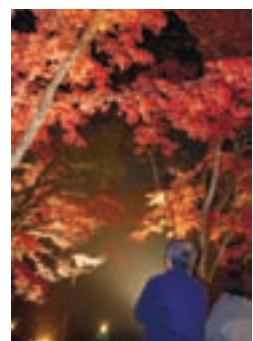


11月23日、曾木の滝公園で第49回もみじ祭りが開催されました。澄みきった青空の中、本祭りが行われ秋の一日を満喫しようと、市内外から3万人ほどの観光客が訪れました。



公園中央に今年完成した芝生広場のステージでは、保育園児のマーチングに始まり太鼓や棒踊り、吹奏楽の演奏と続き、実愛（青空風音）・城山さくら・福井静さんのミニコンサートが行われ会場は大いに盛り上がりました。

また、大鶴湖ではNPO法人3団体による秋の大鶴湖船上体験が今年も行われ約560人の乗船がありました。今年は、昨年より水位が高く発電所遺構の近くまで行くことができました。夜は、ライトアップされた曾木の滝に打ち上がる花火が見る人を魅了していました。





秋の大収穫祭



2010 伊佐ふるさとまつり



11月13、14日に開催された「2010伊佐ふるさとまつり」は、口蹄疫が畜産農家や商店街など地域に与えた影響を吹き飛ばすかのように2日間の来場者数は1万6千人と大盛況でした。目玉の黒毛和牛の丸焼き、黒豚焼肉、シカ焼肉、自然薯、椎茸など試食販売も好評で地場産業の消費拡大に大いに貢献しました。

ステージを盛り上げた歌や踊り、民俗芸能に観客は拍手喝采で、隣接する会場で同時開催されたスポーツイベントにも県内各地から選手とその応援団が参加し、試合後には、ユニフォーム姿でお土産を購入する姿が多く見られました。



頑張れ奄美！



奄美豪雨被災者のために「救援米」として、伊佐の新米、3キロ入りを200袋送りました。現地の水不足に配慮して洗わずに炊ける無洗米です。10月27日に伊佐を出発。翌日の台風の接近で到着が遅れ心配されましたが31日には無事、奄美市役所に到着しました。伊佐市も平成18年豪雨災害のときには多くの方々から励ましていただきました。一日も早い奄美の復興をお祈り申し上げます。

薩摩街道を行く



11月7日、薩摩三大関所の1つで、室町時代から明治の初めまで薩摩藩の重要な守りの拠点となっていた「小川内関所」跡で小川内関所祭りが、開催されました。東哲郎先生（伊佐市文化財保護審議会会長）による講話のあと、難所といわれた「亀坂」の散策をしました。参加者は当時の人々の旅の姿を思い浮かべたようでした。山野小学校の児童による踊りや和太鼓グループ絵響による演奏、JA女性部による手踊りなどを観覧しながら昼食をとりました。

曾木の滝公園入口に花苗を植栽



10月24日、大口南中学校OBのまちおこしグループ「伊佐^{いさ} やったろ会」のメンバーを中心に地域の方々約50人が曾木の滝公園入口に、シバサクラなど約10種類の花の苗1万株を植えました。同会は8月末から、雑草の生い茂った緑地帯の草取りや土返しなどの準備を行い、当日は早朝から3時間かけて丁寧に花の苗を植えました。

来年春の“花かごしま2010”開催時には、色鮮やかに咲く花が、曾木の滝公園まで気持ち良く来場者を迎えてくれることでしょう。

ぜひ、一新した玄関口を通して曾木の滝公園にお越しください。

懐かしい音とにおい 発動機展示運転会



11月21日、九州石油発動機愛好会の主催で「発動機の展示運転会」が開催されました。

大小多数の磨き上げられた発動機がドッドドッドとリズムを刻む様は、約90年前のものとは思えない力強い音で圧巻でした。遠くは東京・埼玉からの参加者もあり、独特の油のにおいや煙が漂う会場には多くの観客が訪れ大正・昭和の香りを楽しみました。

文化の秋を堪能



伊佐市文化祭（伊佐市文化協会主催）が開催され、多くの観客で賑わいました。今回は、合併後2回目の開催で、舞台発表部門（43団体出演）が10月30・31日に伊佐市文化会館で、作品展示部門（17団体出展）が11月7日に菱刈農業者トレーニングセンターで行われました。幼稚園・保育園の子どもたちから高齢者まで幅広い世代の“伊佐のスター・アーティスト”が参加し、日ごろの活動成果を発表しました。

曾木の滝水力発電計画基本協定締結式

曾木の滝の河川水を利用した小水力発電事業のために伊佐市と日本工営(株)は10月22日に基本協定を締結しました。市は、土地を提供し、日本工営は、建設・保有・運営をすることになります。

発電量は、年間354万キロワットアワーで、一般家庭1000軒分の年間電力使用量に相当します。建設費4億3700万円は全額、日本工営が負担し利益の一部は市に還元されます。

運転開始は平成24年4月の予定で、自然エネルギー活用による市のイメージアップや曾木の滝観光の活性化などへの期待が高まります。



湯之尾神舞奉納



11月23日、菱刈川北の湯之尾神社で「湯之尾神舞」の奉納が行なわれました。

これは五穀豊穰、無病息災を祈って毎年豊祭の夜に奉納されるもので、県の無形民俗文化財に指定されています。今年、伝承されている26番の舞のうち「花舞」など13番が奉納されました。

神舞は約500年以上続くと考えられており、厳かな雰囲気ではじめた舞につめかけた多くの観衆が見入っていました。「花舞」では、湯之尾小学校の子どもたちのかわいらしい舞のしぐさに、大きな拍手や声援が送られていました。

新納忠元没後400年祭



11月14日、「新納忠元没後400年祭」が忠元神社境内で行われました。当日は市内外から約250人が参加し、神事が行われた後、居合・詩吟・棒踊り・手踊りが次々と奉納され、400年祭にはなを添えました。

この事業の集大成というべき、「二才咄格式定目」を彫った高さ3m、幅3.6mの石碑の除幕が行われました。石碑が子どもたちの育つ道しるべになることと期待しています。

また、隣接する多目的広場では前日から「新納忠元没後400年記念」と銘打っておこなわれた「伊佐地区少年サッカー大会」の決勝戦も実施され、羽月サッカースポーツ少年団が優勝しました。



“ともにささえる 思いやり”

10月31日、“ともにささえる 思いやり”を大会スローガンに大口ふれあいセンターで第2回伊佐市社会福祉大会が開催されました。

宮崎大学名誉教授(前学長)住吉昭信氏の記念講演「生活習慣病を中心に」では、『諸悪の根源である動脈硬化は「沈黙の病気」である。症状が出てからは遅い。その元になる生活習慣病の予防が大切』と話されました。

社会福祉功労賞・福祉作文の表彰式もあり受賞者を代表して「手話サークルコアラ」の濱木奈菜美さんが、手話を交えてあいさつをされました。受賞者は次のとおりです。(敬称略)

社会福祉功労表彰

【功労者表彰】

- 堀下末夫 (伊佐市身体障害者協会)
- 三宅みずえ (社会福祉法人 大一会)
- 内村光子 (社会福祉法人 隼仁会)
- 久保浩子 (社会福祉法人 羽月保育園)
- 濱木奈菜美 (手話サークル コアラ)
- 福島洋子 (伊佐市ボランティア連絡協議会)
- 朝日町自治会 (大口校区コミュニティ協議会)

福祉作文コンクール表彰

【優秀賞】

- 赤池心矢 (大口小2年)
- 溝口 悠 (菱刈中3年)

【優良賞】

- 轟木里咲 (本城小3年)
- 栗須祐輔 (田中小6年)
- 井立田昌汰 (山野中3年)
- 鵜木直翔 (菱刈中1年)



イラスト：長尾美紀さん

【入選】

- 梶木優希 (山野小5年)
- 中山 淳 (山野小4年)
- 内藤玲佳 (大口小1年)
- 徳永ひなの (山野中2年)

「伊佐市 PR レディ・ボーイ」 の新しい顔



10月26日の任命式では、(写真左から)瀬戸口和茂さん、井上美沙さん、村岡幸さん、宮脇小夏さんに委嘱状が交付され、市長から「これから1年間、笑顔いっぱい体につけて頑張ってください」との激励に、4人は「頑張ります」と笑顔でこたえました。4人は11月23日の「もみじ祭り」が初仕事で、県内外へ伊佐市をアピールしました。今後は「春の桜まつり」など各種イベントに参加し、伊佐市の顔としての活躍に期待します。

「伊佐市の応援隊長」



俳優の榎木孝明さんが「伊佐市ふるさと大使」に任命されました。

11月19日、任命式が行われ、榎木さんご本人が出席。「伊佐市の魅力を全国に広く宣伝して欲しい」と隈元市長から委嘱状を手渡されると、榎木さんは笑顔で受け取り、「ふるさとの自然や歴史、観光などPR活動に積極的に取り組みたい」と意欲を語られました。大使の任期は、平成25年3月31日までとなっています。

伊佐市にとって頼もしい応援隊長の誕生となりました。

ロードミラー清掃ボランティア



8月29日、10月23日の早朝、大口中央交番連絡協議会員、安全運転協議会員、伊佐署員の20人が大口・牛尾小学校の通学路内のロードミラー及び道路標識の清掃を行いました。また、11月6日には、(株)伊佐市シルバー人材センター会員42人が羽月校区のロードミラーの清掃を行い、たくさんのロードミラーが綺麗になりました。ありがとうございました。

よく見えるようになったロードミラーで安全確認をしっかりと行い、交通安全に努めましょう。

芸術イベント in 布計



11月6日～14日、芸術イベント「Artist Colony EL DOLADO in 布計」が布計小学校跡で開催されました。初日は音楽イベントや各種ワークショップがあり、普段静かな集落に多くの人が集まり賑わいました。

校舎内には、地元出身者などが描いた絵画や昭和30年代の集落の写真など多数の展示・販売もありました。

11月12日には、このイベントに出店された画家の市来功成さん(針持出身)が来庁され、伊佐市のために役立ててくださいと絵の売上金の一部が寄附されました。ありがとうございました。